

月刊 やちまなこ

2016.9.15 発行

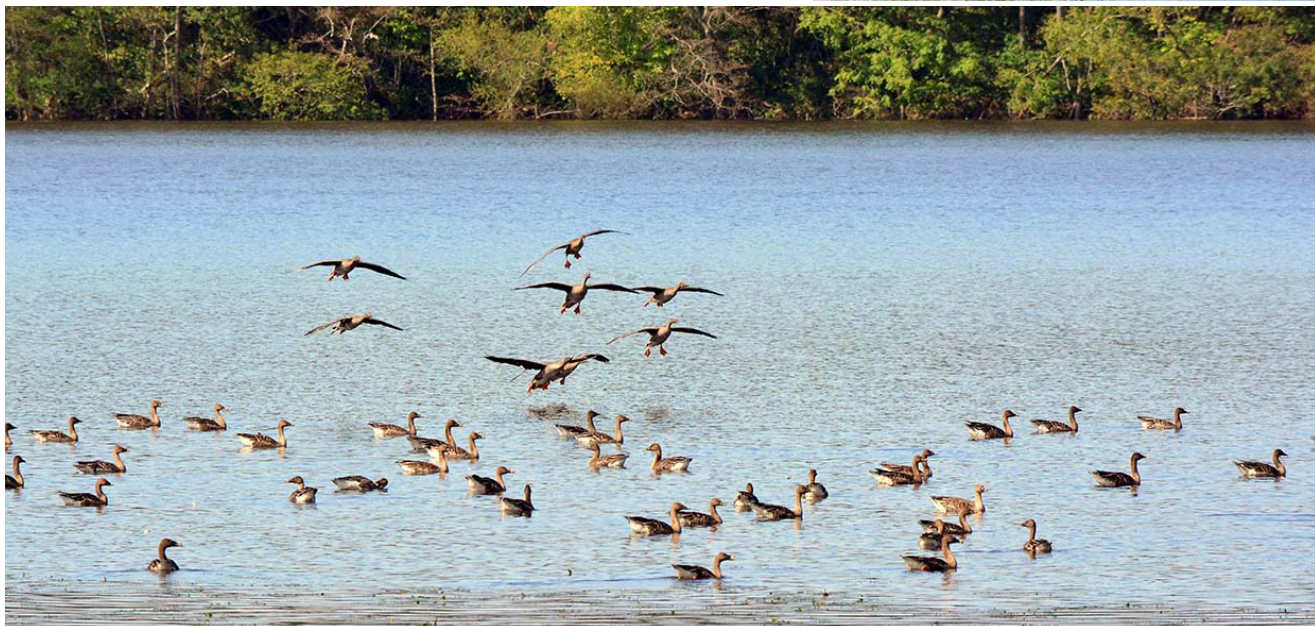
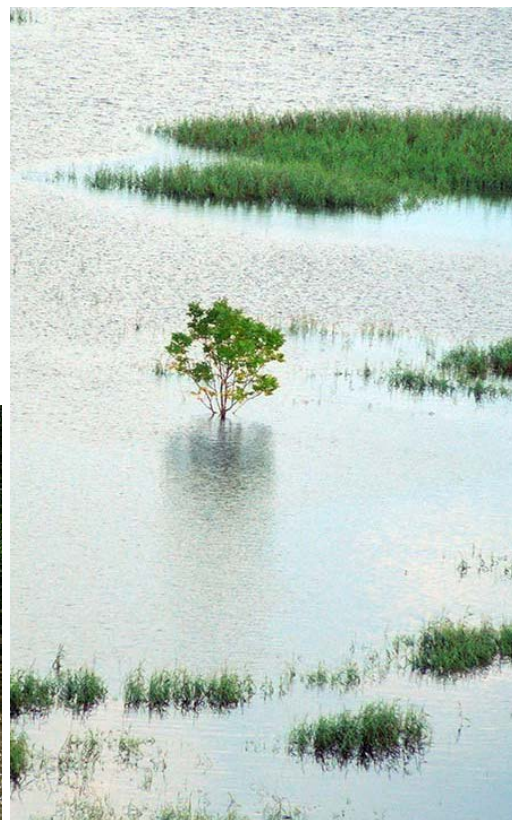
No. 226

9 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより

湿原散歩

茶色く濁った水がゴーッ、ザーッと音を立て渦を巻きながら流れる川。北海道を直撃した台風は普段緩やかに流れる川を豹変させた。そんな流れを集める湿原は大きな沼となり、ヨシ原はまるで小島のように点在している。台風が過ぎ、秋めいてきた水辺に早くもヒシクイが越冬のため姿を見せ始めた。



コッタロ川と湿原のほとりから

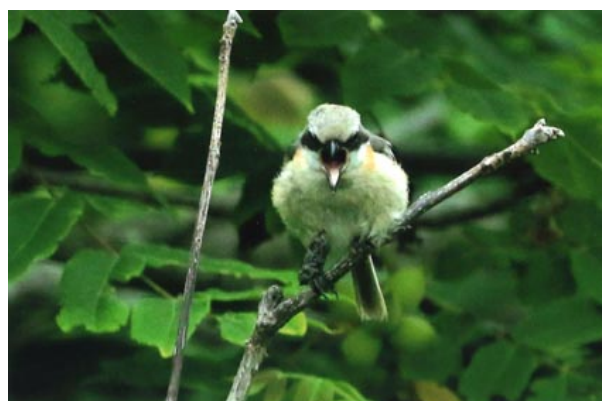
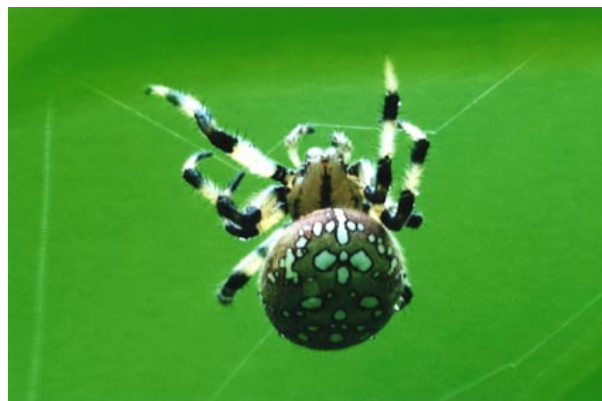
195 9月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住. 中本 アキ子(文) 中本 民三(写真)

“草の根にすだく虫の音夜もすがら”，秋が深まってまいりました。きのう迄朝の気温+13℃が続いていたのですが、今朝+10℃でぐっと冷え込んだ10日，“スイッチとその一声に肌寒し”。

長雨続きの7月、8月にも増して、たて続けに襲来した大型台風3つの上陸で、これ迄経験したことのない激烈な災害が、道内至る所でライフラインを寸断してしまい、なかなか復旧の目処さえ立たない状況です。我家の最も身近い塘路へ通じる生活道路であるコッタロ湿原内5KM余りの砂利道も、しばらくの間通行止めとなっております。この台風の爪跡はかなり深く、電線や電話線を直撃した倒木の後片付けもままならず、このまま晴天が続くことを祈る外ありませんね。

ところで、去る9月7日、10日ぶりに太陽が顔を出した朝、歓喜して畑のニンジンとジャガ芋を掘り上げると、虫達も同様に這い出してきて、嬉しそうな雰囲気のを漂わせ、黄緑色の体長5cm余りの幼虫が、笑っている様に見えたではありませんか。これからサナギにでもなろうとしているのか、黒い首輪とまっ赤なアイシャドウが目立つ、おしゃれな顔面を拡大してみると、さらに細い線が地図状に描かれていて、とてもユニークな『ゆるキャラ』でした。又、白と黒のツートンカラーの手足で器用にぶら下がった軒下で子持ちグモが、キノコ紋様の大きな袋を背負っていて、今にも中から子供達が飛び出してきそうなのをパチリ！はたまた庭の枯木で大欠伸をしているユーモラスな百舌の幼鳥にも愛情を込めてパチリ！一方で、急速に変化するこの時季の空模様を目を向けると、雲達が自在に形造るアートが面白いオータムスカイも見事でしょう？その下で悠然と佇む丹頂の♀の長閑な風景を御覧下さい。



湿原の住人たち その186

キセキレイ

塘路湖エコミュージアムセンター周辺で見られるセキレイの仲間には、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイ、ビンズイがいます。キセキレイを目にする機会はそれほど多くありませんが、黄鵪鶉の名前の通り、雄も雌も胸からお腹にかけてと腰が黄色です。写真は塘路湖畔歩道のマサコヤノシマ広場付近にいた個体で、長い尾羽を上下に振って歩いたり、軽やかに飛んでいました。図鑑には全長約19cmのキセキレイの体重が約17g、全長約15cmのスズメが約24gと載っていました。尾羽が長くてスマートに見えるとはいえ、スズメより軽いとは意外でした。釧路湿原では夏鳥なので、まもなく温暖な地方へ旅立ちます。



バードカービング講座が始まりました

4日、自然ふれあい行事「バードカービング初心者講座1回目」を開催しました。毎年釧路湿原に



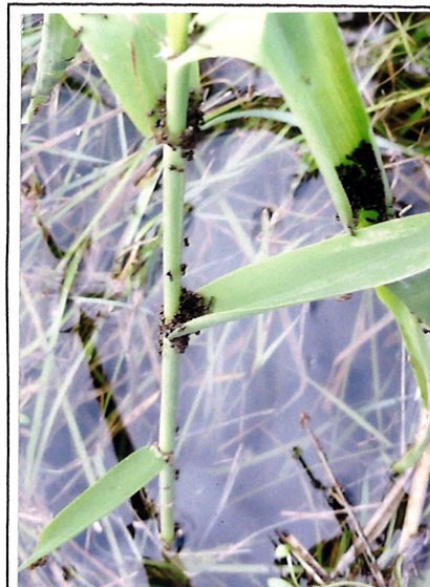
生息する野鳥を作りますが、今回は「ウグイス」をモデルにしました。講師の沢田正雄さん（釧路湿原ボランティアレンジャー会員）から一連の作業の流れを聞いたあと、角材に図面を転写したものを糸鋸で輪郭をカットした材料を切り出しナイフで丸味をつけてゆきます。その際にセンターラインを引き、バランスに注意しながら作業を進めることを教わった参加者は「初体験で今から出来上がりが楽しみです」と感想を述べていました。

つぼっちの塘路湖周辺うろうろ日記 Vol.92「命を繋ぐ葦」

8月下旬から降り続く雨により道内各地で大きな被害が発生しました。今なお釧路地方では鉄道や自動車道の一部が麻痺し影響が出ています。標茶町郷土館や塘路湖エコミュージアムセンターのある塘路元村地区では、8月22～23日にかけ北海道へ上陸した台風9号の被害が大きく、塘路湖の湖水面が上昇した影響で町道が冠水し通行止めとなりました。郷土館を含めた各施設は孤立状態となり1週間ほど臨時休業となりました。その間元村地区はゴーストタウンのような状態になり、冠水した道路にはカモが悠遊と泳ぐという珍妙な光景が見られました。冠水した道路を確認していると冠水面から延びている葦に、蟻がびっしりと群がっている様子が見られました。おそらく冠水から逃げるため、葦に掴まった蟻の群れなのでしょう。未だ葦は水中から突き出たまま。下に降りる事も出来ず葉っぱの上で休んでいるようでした。まさに命を繋いだ葦です。洪水からの避難はまず高いところに逃げる事、これは虫も人も変わりありません。坪岡 始（標茶町郷土館学芸員）

8 がつ 23 にち

ばしよ 塘路湖南岸の町道



← 葦の黒い部分
は全て蟻です
身動き一つせず
じっと耐えて
いました。

10月の行事カレンダー

各行事とも事前の申込が必要です

秋のバードウォッチング

[日時] 10/30 (日) 10:00~12:00

[定員・参加料] 15名・無料

〔持ち物〕 あれば双眼鏡、天候にあわせた服と靴

[集合場所] 憩の家かや沼駐車場

♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ 申し込み問い合わせは 塘路湖エコミュージアムセンターまで TEL 015-487-3003

ザリガニウォッチング2 ～ニホンザリガニ編～

[日時] 10/16 (日) 10:00～12:00

[illegible]

塘路湖・シラルトロ湖・コッタロ湿原周辺の自然情報

【植物】(8/16)イヌエンジュ (8/20)ミヤマニガウリ (8/23)エゾヤマハギ (8/27)クルマバナ. カワミドリ. ヤマハハコ. エゾトリカブト. オトコエシ. ツユクサ. ミヤマヤブタバコ. シラヤマギク (9/10)カラコギカエデ・キタコブシ・オニグルミ・ヤマブドウの実. チドリケマン. ミゾソバ. アキノウナギツカミ. ヒヨドリバナ (9/12)キツリフネ. ヤナギタンポポ. アラゲハンゴンソウ (9/14)カンボクの実. ハンゴンソウ. キンミズヒキ. サラシナ ショウマ

【鳥】(8/16)ハリオアマツバメ (8/17)アオバトの声 (8/23)ベニマシコ、ハクセキレイ (9/7)ヒシクイ (9/12)キセキレイ、ハクセキレイ、アオジ、コゲラ、アカゲラ (9/13)マガモ (9/14)カワセミ、ノスリ、タンチョウ、ノビタキ

【その他】(8/20)やぶ蚊 (8/27) マユタテアカネ (9/3) シオカラトンボ. アキアカネ (9/12) モンキチョウ (9/14) ヨモギハシロケタマフシ. エゾシカ

■通行止めと施設閉鎖のお知らせ

塘路からコッタロ湿原に向う**道道 1060 号クチョロ原野塘路線は**、台風と長雨の影響による道路滞水・冠水のため、サルボゲートからコッタロゲート 5.0km が 8/20 から**通行止めです**。

コッタロ展望台は利用できますが、駐車場のトイレは冠水被害により閉鎖されています。

道路の問い合わせ先：015-482-2147（釧路建設管理部弟子屈出張所）、又は、インターネットで北海道地区道路情報を検索してください。

◆日出・日入時間 9/15(5:02, 17:33). 9/30(5:18, 17:06). 10/14(5:34, 16:42)



道道 1060 号 サルボゲート

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこつと

☎088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL:015-487-3003 FAX:015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

開館時間 10:00～17:00 (11月～3月は16:00まで)

休館日：毎週水曜日 12月29日～1月3日 入館無料